

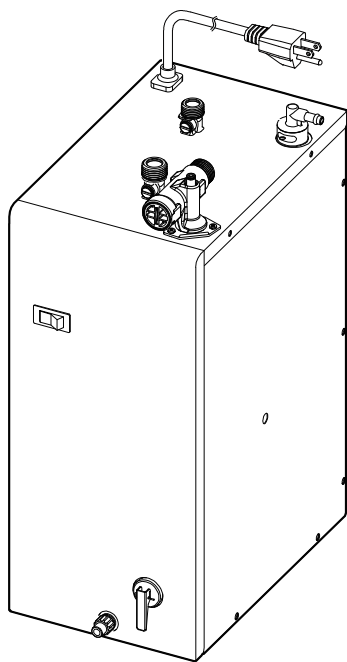
小型電気温水器（先止め式）

品番

EHPN-F6N4

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。



説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※保証書は紛失しないよう大切に保管してください。紛失した場合修理が有料となる場合があります。

※転居される場合、次に入居される方に、この説明書と保証書をお渡しください。

工事店様へのお願い

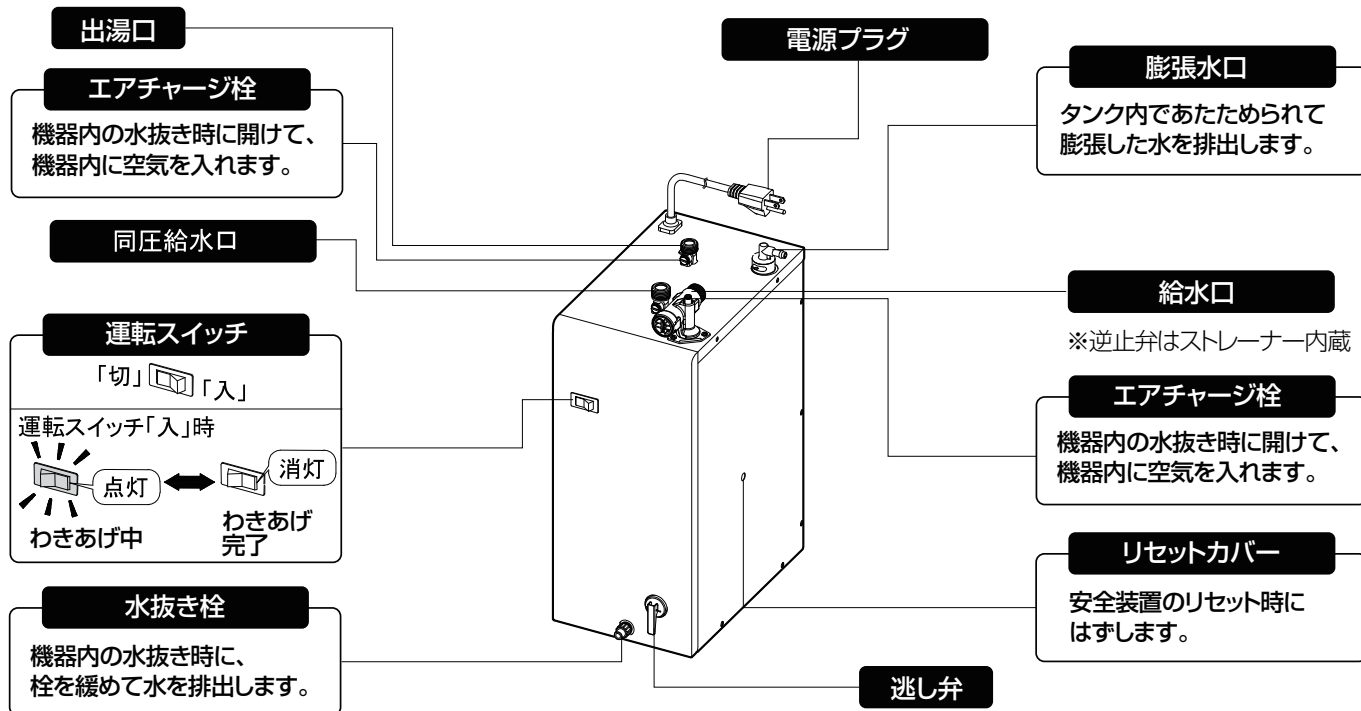
- ・貴店名ならびに引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
- ・定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

もくじ

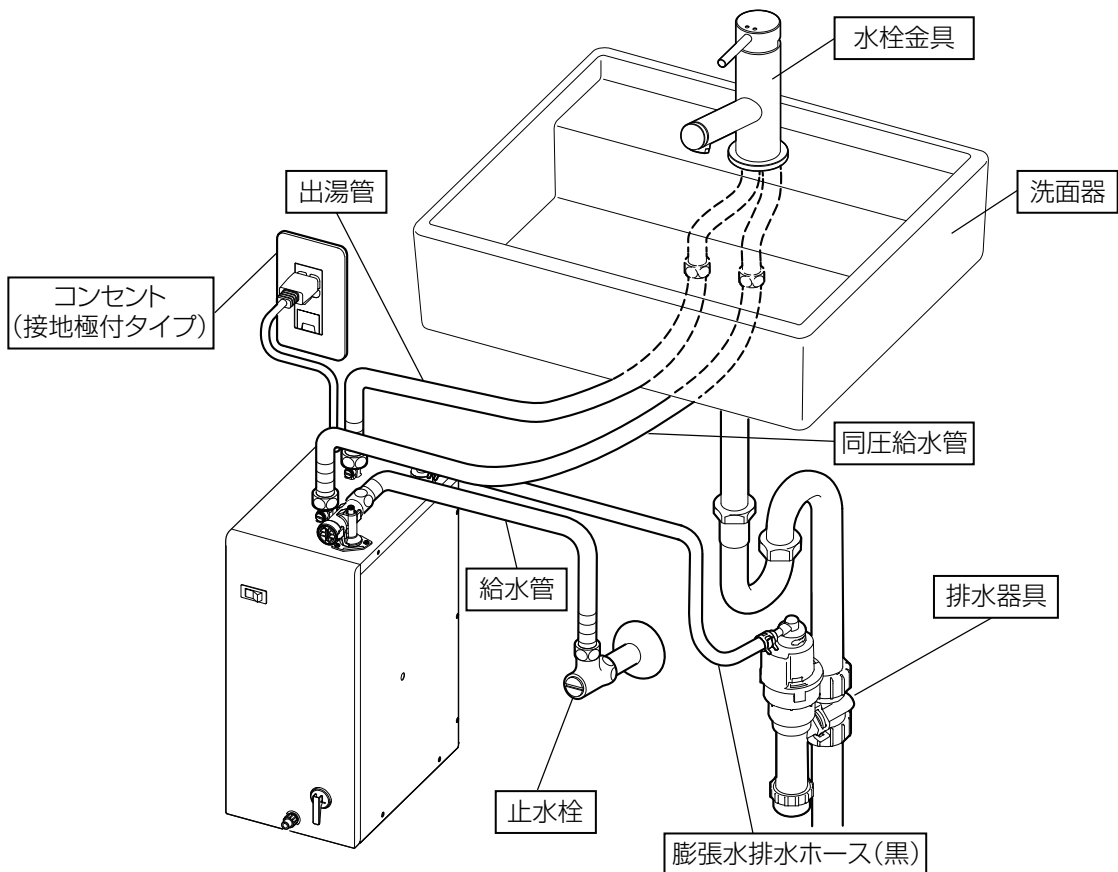
■ 各部のなまえ	1
■ 安全上のご注意	2
■ ご使用前の注意事項	5
■ ご使用方法	7
■ 日常の点検	9
■ 定期的な部品点検のお願い	11
■ 冬季凍結の恐れがある場合	11
■ 長期間使用しない場合	12
■ 故障かなと思ったら	13
■ アフターサービスについて	15
■ 仕様	16
■ 保証書	裏表紙
■ 問い合わせ先	裏表紙

各部のなまえ

機器本体





配管図例








安全上のご注意（必ずお守りください）






※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
	「分解してはいけません！」
	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
	「必ずアースを接続しなさい！」
	「電源プラグを抜きなさい！」

 警告	
	ぬれ手に注意 電源プラグはぬれた手で絶対に触らない。 ※感電の恐れがあります。
	水かかり厳禁 ○屋外に設置されていないことを確認する。 ○屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる場所 特に浴室やシャワールームには設置しない。 ○機器に水をかけたり、機器上部にぬれたものや洗剤などを置いたりしない。 ※機器内部に液体が入りこんで、機器の故障、火災や感電の原因になります。
	分解禁止 修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理は行わない。 ※火災や感電の原因になります。
	機器の改造禁止 ○内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わない。 ○内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せずに専用補修部品と交換する。 ※火災や感電の原因となります。



警告

	<p>アースの接続</p> <ul style="list-style-type: none"> ○設置場所の分電盤などに漏電遮断器が設置されていることを確認する。 ○アースが必ず接続されていることを確認する。 <p>※アース工事がされていない場合や不完全な場合は、感電する恐れがあります。</p>
	<p>機器のコンセント</p> <p>機器用に設置するコンセントは「接地極付コンセント」を使用する。対応するコンセント形状は、使用する電源、ヒーター能力を本体の定格銘板で確認し、必ず適したコンセントを使用する。また電源プラグの変更は絶対に行わない。</p> <p>※火災や漏電等の重大故障の原因となることがあります。</p>
	<p>ブレーカー作動時の使用中止</p> <p>本機器とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合、使用を中止し、すみやかに修理を依頼する。</p> <p>※本機器に異常がある恐れがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電などの重大故障の原因となることがあります。</p>
	<p>機器使用の条件</p> <p>使用する電源、ヒーター能力を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をする。</p> <p>※適していない電圧や配線に接続すると火災の危険性があります。</p>
	<p>機器使用の条件</p> <p>雷の音が聞こえる場合には使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜く。</p> <p>※感電の原因になります。</p>
	<p>電源プラグは確実に差し込む</p> <p>電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。また、傷んだプラグや緩んだコンセントは使用しない。</p> <p>※火災の原因になります。</p>
	<p>電源コードを傷めない</p> <p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。</p> <p>また電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かない。</p> <p>※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。</p>
	<p>電源プラグのお手入れを</p> <p>半年に1回程度は電源プラグを抜き、ほこりを除去する。</p> <p>※火災の原因になります。</p>
	<p>高温注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ツーハンドル、シングルレバーの混合水栓を使用する場合、水側を先に開けてから湯側を開ける。 閉めるときは、湯側を先に閉めてください。 ○出湯配管に直接手を触れない。 <p>※ヤケドの恐れがあります。</p>
	<p>機器使用の条件</p> <p>この機器は水道水以外の水(水道事業者が供給する上水以外)を使用しない。</p> <p>※早期に機器が損傷したり、漏水したりする恐れがあります。</p>



注意



機器使用の条件

- この機器は車両、船舶では使用しない。
- この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はしない。
- ※機器の故障だけでなく、漏電、漏水などの恐れがあります。
- この機器は日本国内向けのため国外では使用しない。



機器使用の条件

- この機器は給水圧力0.05MPa～0.75MPaまでの範囲で使用する。
- ※水圧が高い地域に設置した場合、止水時にタンク内の圧力が高くなり、膨張水口から水が噴き出し続ける恐れがあります。



膨張水排水ホース（黒）の接続

- 膨張水口からの膨張水排水ホース(黒)の接続が確実にされているか必ず確認する。
- ※漏水の恐れがあります。



飲用注意

- 機器内に長期間滞留していた水は、飲用に用いず雑用水として使用する。
- ※長期間滞留していた水となる目安：1日の手洗い人数が26人以下の場合



空だき禁止

- 機器内のタンクが満水になっていない場合は、運転スイッチを「入」にしない。
- ※機器の破損やヤケドの恐れがあります。



凍結予防

- 凍結の恐れがある場合は、機器内の水抜きを行う。
- ※機器が凍結破損し、漏水する恐れがあります。

ご承知おきいただきたいこと


本機器は、貯湯式です。
タンク内のお湯を使い切ると、次のお湯がわきあがるまで以下の時間が必要です。

製品品番	わきあがり時間	標準出湯量※1
EHPN-F6N4	約42分 (15→60℃)	約9.5L

※1 水温15℃、出湯温度36℃の、出湯量4L/分の標準条件で一度に使用できる湯量

ご使用前の注意事項

確認1. 設置極付コンセントが取り付けられていますか？

品番	定格電圧	定格消費電力	対応コンセント形状
EHPN-F6N4	AC100V	450W	

警告



- 接地極のないコンセントを設置されている場合は、コンセントを付け替えてください。
- 分電盤に漏電遮断器が設置されていることを確認してください。
※故障や、感電・火災の原因になります。

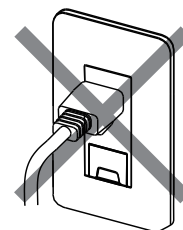
確認2. 電源プラグはコンセントから抜いていますか？

- 運転スイッチが「入」になっている場合は、「切」にします。
- 電源プラグがコンセントに接続されている場合は抜きます。

注意



機器内のタンクが満水になっていない場合は、
運転スイッチを「入」にしない。
※機器の破損やヤケドをする恐れがあります。



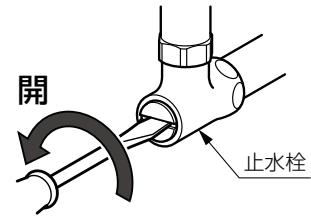
タンクへの給水手順

⚠ 注意



機器内のタンクが満水になっていない場合は、運転スイッチを「入」にしない。
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。

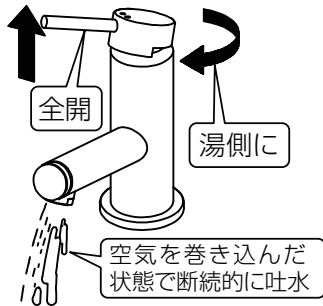
- ①水抜き栓、エアチャージ栓が閉まっていることを確認する。
- ②止水栓を開ける。



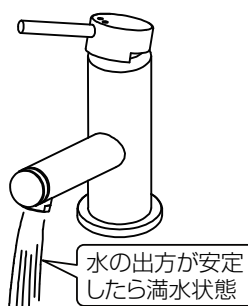
- ③水栓金具の湯側を全開にして吐水する。

水の出方が安定するまで続けてください。

<満水になっていない状態>

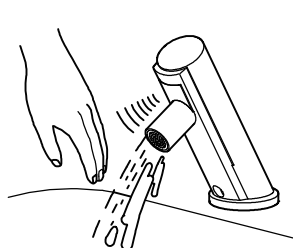


<満水の状態>

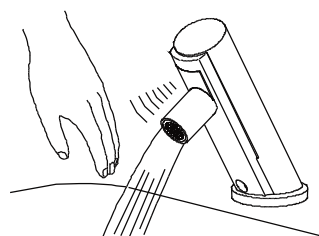


タンクが満水になるまで約2分かかります。

<満水になっていない状態>



<満水の状態>



吐水口の下に手をかざし続けてください。
止水したら、再度手をかざし吐水が安定するまで続けてください。

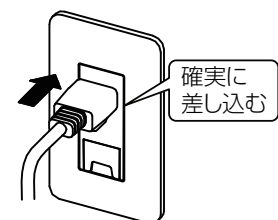
●湯水切替タイプの自動水栓の場合、必ず湯側で通水してください。
※機器に給水されず空だきの原因になります。

- ④止水栓で流量を調節する。
※洗面器から水ハネしたり、あふれたりしないように調整します。
- ⑤(混合水栓の場合)水栓金具の水側についても同様の操作を行う。
- ⑥水栓金具を閉め、配管各部に漏れがないか確認する。
- ⑦運転スイッチが「切」になっていることを確認して電源プラグをコンセントへ差し込む。

⚠ 注意



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
※火災の原因になります。



ご使用方法

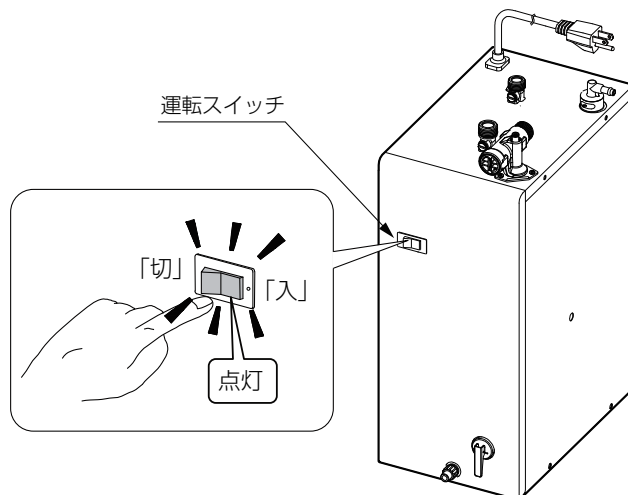
お湯をわかす

- 運転スイッチを「入」にする。
通電ランプが点灯し、わか上げが始まります。

わか上げが完了するまで時間がかかります。
(詳しくはP.4参照)

⚠ 注意

湯を使用する際は必ず水を出してから、
湯を出して温度を調節してください。
閉める時は、必ず湯側を先に閉めてください。⚠
※ヤケドの恐れがあります。



- わか上げが完了したら、通電ランプが消灯し、お湯が使える状態になる。
- お湯を使用してタンク内の湯温が下がると、通電ランプが点灯し、再びヒーターに通電される。

■ 日常の使用

- お湯を使用する時期は運転スイッチを「入」のままにしてください。
- 1週間以上使用しない場合や、夏場でお湯が不要な場合は運転スイッチを「切」にしてください。
再度使用を始める前に、タンク容量の2倍程度通水し、タンク内の水を入れ替えてから運転スイッチを「入」にしてください。

安全装置のリセット方法

運転スイッチを「入」にして通電ランプが点灯しない場合、空だき等の原因で安全装置が作動した可能性があります。下記の手順にしたがって、安全装置をリセットしてください。

①運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

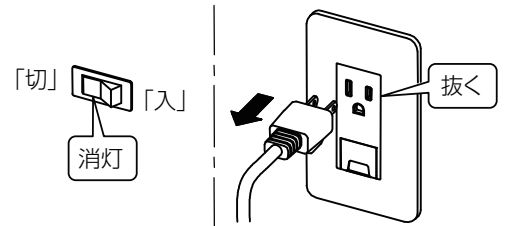
※電源プラグを抜く前に運転スイッチを「切」にしてください。



注意



必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行う。
※感電の恐れがあります。



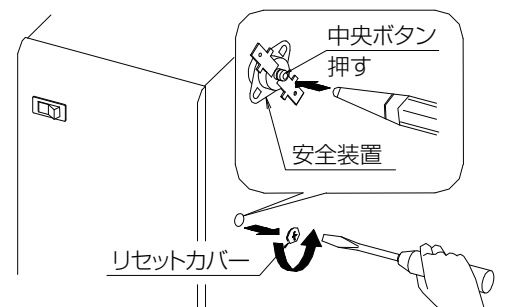
②タンクへ給水されているか確認する。

されていない場合、6ページ「タンクへの給水手順」に従い、給水する。

③リセットカバーを手回しドライバーで取り外し、安全装置の中央ボタンを押す。

ボールペンの先などで、安全装置の中央ボタンを押します。

④取外しと逆の手順でリセットカバーを取り付ける。



【取外し時、取付け時の注意】

取外し時：リセットカバーを半時計方向に回すと、約1回転で外れます。

取付け時：リセットカバーを時計方向に回すと、約1回転で取り付きます。

※リセットカバーの締め込みすぎに注意してください。

再使用后、再び安全装置が作動した場合は、機器の使用を中止し、すみやかに取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理を依頼してください。

日常の点検

⚠ 注意



必ず運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて行う。
※感電の恐れがあります。



次のものは使用しない。
・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類
・クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
※機器の変色や破損の原因になります。

機器回りの漏水点検(日常)

機器、各配管とその接続部分は、長期間の使用により漏水する場合があります。接続部分や機器の下面から漏水していないか日常的に点検してください。漏水を発見した場合は、すぐに止水栓を閉め、お買い求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターへご連絡ください。

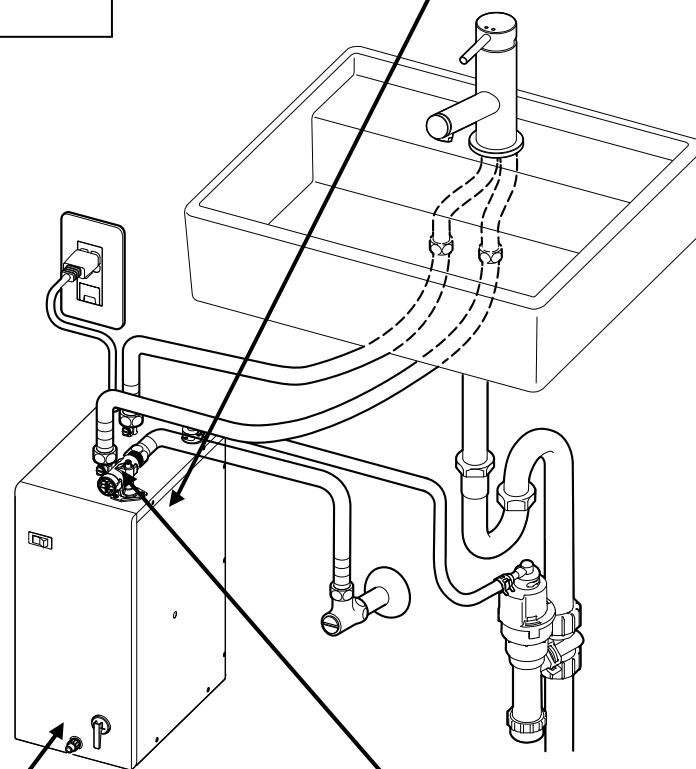
タンク内のお掃除(年1回程度)

長期間の使用でタンク内に汚れがたまる場合があります。機器内の水抜きと給水をくり返して掃除してください。

6、14 ページ参照

機器の環境(日常)

機器上部にぬれたものや洗剤などが置かれていないか確認してください。置かれている場合は、ただちに取り除いてください。



機器のお掃除(日常)

通常は乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、適量に薄めた中性洗剤をしみ込ませた布で拭き取ってください。

また洗剤は確実に拭き取ってください。

※給湯配管まわりをお手入れする場合は、配管を冷やしてから行ってください。ヤケドの原因になります。

※ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシなども使用しないでください。キズの原因になります。

ストレーナーの掃除 (湯量が少なくなったら)

機器の設置初期や長期間使用している間に配管内を流れてきたゴミがストレーナーに詰まって湯や水の出が悪くなる場合があります。お湯や水の出が悪くなったらストレーナーの掃除を行ってください。

10 ページ参照

ストレーナーの掃除方法(湯量が少なくなったら)

機器の設置初期や、長期間使用している間に、配管内を流れてきたゴミがストレーナーに詰まって湯や水の出が悪くなることがあります。湯や水の出が悪くなったら、11ページの「機器内の水抜き方法」に従って水を抜いた後に、ストレーナーの掃除を行ってください。

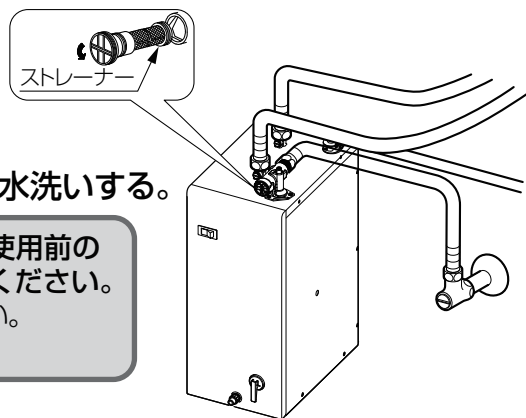
【ストレーナーの掃除方法】

- ① マイナスドライバーなどを使用してストレーナーを取り外す。

ストレーナーを外すときは、少量の水がこぼれるので、取外し部にタオルなどをあてがいながら、ストレーナーを取り外します。

- ② ストレーナーの網目に詰まったゴミをブラシなどで取り除き、水洗いする。

掃除完了後、ストレーナーは確実に取り付け、5 ページからの「ご使用前の注意事項」にしたがって通水し、水漏れのないことを確認してください。
※不明な点がございましたら、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
有料にて掃除いたします。



定期的な部品点検のお願い

●部品点検について

給水用具（逆流防止装置）を内蔵している機器は安全・快適にお使いいただくために、社団法人日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に基づき、4～6年に1回程度の点検を受けることをお勧めします。

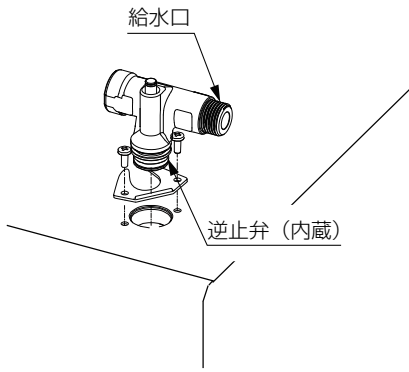
●摩耗・劣化する部品交換について

部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。

交換時期の目安：4～6年

摩耗・劣化する部品の例：減圧弁、逃し弁、パッキン、Oリング、電装品など

点検・交換は販売店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。



冬季凍結の恐れがある場合

積雪の多い地方だけでなく、暖かい地域でも思いもよらぬ冷え込みで凍結事故が発生する場合があります。凍結する恐れがある場合は水抜きをしてください。

⚠ 注意



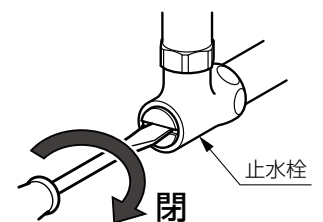
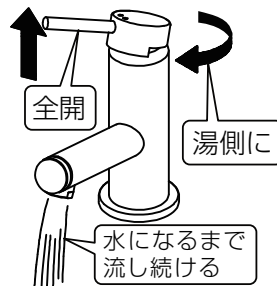
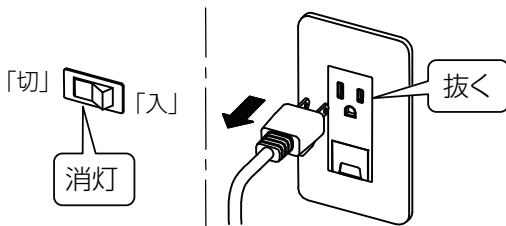
室温が0℃以下になると考えられるときは、機器の水抜きを行う。
水抜きを行う前に、空だき防止のため、運転スイッチを「切」にして、電源プラグを抜く。
※機器の漏水や破損の原因になります。

機器内の水抜き方法

長期間、機器の使用をしない場合（特にその間に凍結の恐れがある場合は必ず）下記の手順に従って、機器および排水器具の水抜きを行ってください。

■機器内の水抜き

- ① 運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜く。
- ② 水栓金具の湯側を全開にし、吐水が水になるまで流し続ける。
- ③ 水栓金具を開けたまま止水栓を閉める。



⚠ 注意



機器内のお湯を出し切る。
※機器内にお湯が残っていると水抜き時ヤケドの恐れがあります。

④ 付属の排水用ビニールホース(透明)の端部を水抜き栓に差し込み、反対側はトレイなどで受ける。

⑤ 水抜き栓を開ける。

水抜き栓を左に回します。

固くて回しにくい場合は、ペンチなどを使用してください。



注意



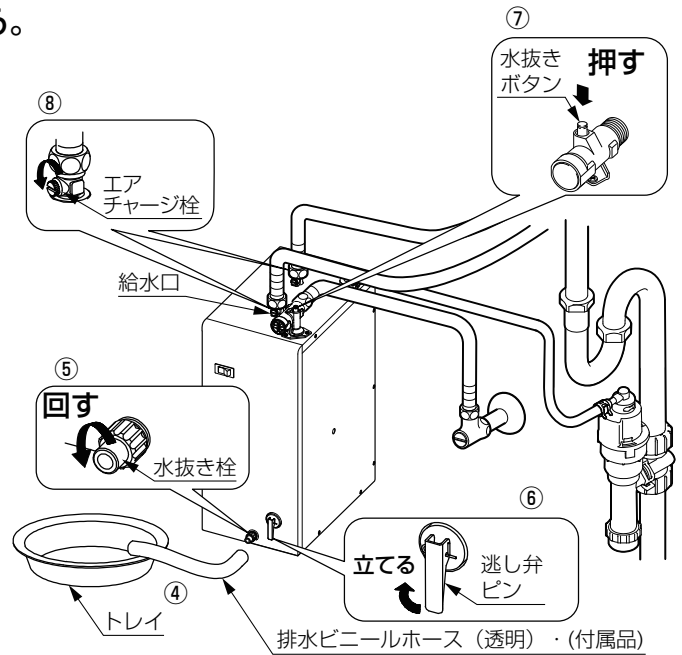
必ず機器内が水になっていることを確認してから水抜き栓を開ける。
※高温の湯でヤケドの恐れがあります。

⑥ 逃し弁のピンを立てる。

⑦ 給水口の水抜きボタンを押す。

⑧ エアチャージ栓2ヶ所を開け、排水する。

水抜き栓を開けてからエアチャージ栓を開けてください。
※水抜き栓を閉めた状態でエアチャージ栓を開けると、エアチャージ栓から水が出てきます。

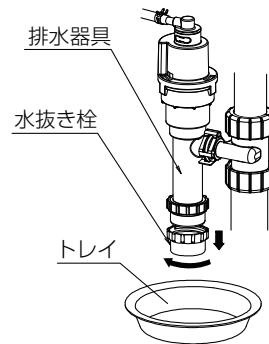


⑨ 水抜き栓、エアチャージ栓、逃し弁のピンを元にもどす。

■排水器具の水抜き

●排水器具の水抜き栓を開ける。

- ・水抜き前には、排水器具下部に水を受けるトレイなどを準備してください。
- ・水抜き後には、必ず水抜き栓を取り付けてください。



長期間使用しない場合

① 機器内の水抜き方法(10ページ)に従い、機器内の水を抜く。

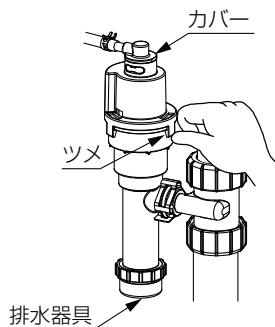
② 定期的に、排水器具内のトラップ部に水を補給する。

※機器の電源を切ると、排水器具内のトラップ部が封水切れを起こし、臭気が発生することがあります。

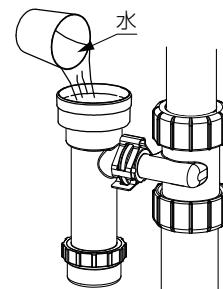
【トラップ部への水の補給手順】

① 排水器具のカバーを取り外す。

ツメ(3カ所)を外します。



② コップなどでトラップ部に水を補給する。



故障かなとおもったら

故障かなとおもったら、まずは下記項目をご覧になり、処置方法を試してみてください。
確認しても故障が直らない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。



注意



修理技術者以外の人、絶対に分解、改造は行わない。
※火災や感電の原因になります。

お湯が出ない、お湯にならない、お湯がぬるい

原因	処置方法
止水栓を開いていますか？	止水栓を開けてください。
元電源が入っていますか？	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。
分電盤のブレーカーが作動していませんか？	機器の使用を中止し、販売店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。
電源プラグは確実に差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
空だきして安全装置が働いていませんか？	安全装置をリセットしてください。 8 ページ
運転スイッチが「切」になっていませんか？	運転スイッチを「入」にしてください。 7 ページ

流量が少ない

原因	処置方法
止水栓が十分に開いていますか？	止水栓を開けてください。 6 ページ
断水していませんか？	断水の確認をしてください。
機器のストレーナーが詰まっていますか？	ストレーナーを掃除してください。 10 ページ
水栓金具の吐水口が詰まっていますか？	水栓金具の吐水口を掃除してください。

漏水している

原因	処置方法
電気温水器本体から漏水していますか？	直ちに止水栓を閉め、取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。
配管接続部から漏水していますか？	締め直すことができる部分は締め直してください。それ以外は止水栓を閉め、修理依頼をしてください。

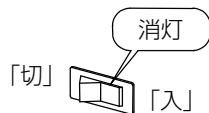
お湯が汚れている

原因	処置方法
タンク内が汚れていませんか？	タンク内を掃除してください。 9 ページ

次の場合は故障ではありません

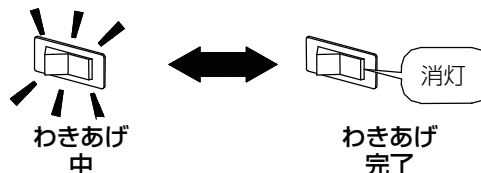
こんなときは

運転スイッチを「入」にしているのに
通電ランプが点灯していない。



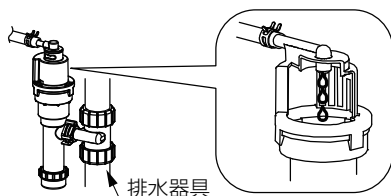
理由

タンク内の水がわきあがると、ヒーターの通電を停止するため
スイッチ部が**消灯**します。
タンク内の湯温が下がると、ヒーターの通電を開始するため
スイッチ部が**点灯**します。



7ページ
参照

運転スイッチを「入」にしたときに
排水器具からポタポタと水が出る。



タンク内の水は温められると、膨張して体積が増えます。
その膨張した水を排水器具から排出しており、異常では
ありません。

お湯の量が少ない。

本機器は、タンク破損防止のために減圧弁を内蔵し、水圧を
下げています。

お湯の温度が低くなる。

タンク内のお湯がなくなったためと考えられます。
お湯がなくなると、再度水のわきあげに時間が
かかります。

7ページ
参照

出てくるお湯ににおいがする。

水道水中に含まれるにおい成分(カルキ臭)などが加熱され、
においが感じられることがあります。使い始めはプラスチック
のにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくな
ります。

混合水栓の水側を開いたときに
あたたかい水が出る。

タンク内の水をわかしあげる際に、給水配管の水に若干熱が
伝わるからです。

本体が熱くなっている。

通常機器外装部の表面温度は、約50℃程度まで上昇します。

機器から異音がする。

お湯のわきあがり近くなると、機器内部からお湯がわいて
いる音がする場合がありますが、異常ではありません。

上記処置で不明な点がございましたら、取扱店または当社お客さま相談センターへご相談ください。
修理のご依頼が必要な場合はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。

TEL ☎ 0120-179-411 FAX ☎ 0120-179-456

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

使用していて、故障ではないかと思われたら、13、14ページの「故障かなとおもったら」、「次のような場合は故障ではありません」を参照してください。

2.保証書をご覧ください

- 本製品の保証期間はお取付日から2年間です。
- この取扱説明書の最後のページが保証書になっています。お取付日、取扱店名などの記入をお確かめのうえ大切に保管してください。
- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3.修理を依頼される時

<保証期間中の修理>

- ・修理に際しては、保証書をご提示ください。
- ・保証書の規定に従って修理させていただきます。

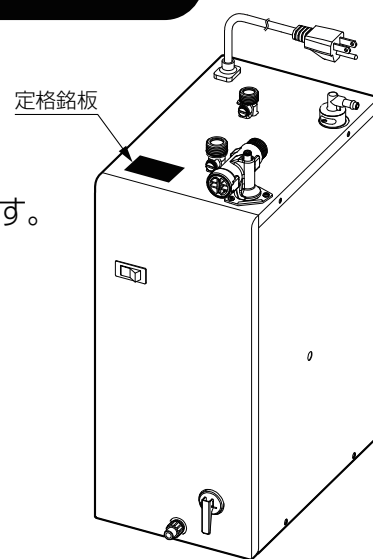
<保証期間経過後の修理>

- ・修理すれば使用できる商品については、有料にて修理させていただきます。
- ・修理料金は「技術料」+「出張料」+「部品代」で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

- 1 ご住所・ご氏名・電話番号
- 2 商品名・品番・取付年月日
(機器本体の定格銘板をご覧ください)
- 3 故障内容・異常の状況をできるだけ詳しく
- 4 訪問ご希望日・お宅までの道順

※お客さまからご連絡いただく氏名や住所などの個人情報は、商品の点検修理にのみに利用し管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客さまの個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理を行われます。



4.部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。
この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。
保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※補修用性能部品は代替品(仕様・形状・材質などが異なる部品)でのご提供となる場合があります。

5.修理のご依頼は

お求めの取扱店やお近くの水道工事店、または

LIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411 受付時間 9:00~20:00 (365日受付)

FAX ☎ 0120-179-456

ホームページアドレス<http://www.lixil.co.jp/support/>

仕様

品番		EHPN-F6N4
外形寸法(突出部寸法を含む)		幅175mm×奥行290mm×高さ447mm
本体質量		約5kg(満水時約11kg)
給水方式		先止め式(減圧弁、逃し弁内蔵)
使用水圧範囲		0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)
減圧弁設定圧力		0.08MPa
安全弁設定圧力		吹き始め0.097MPa、吹き止り0.09MPa
電源コード・プラグ形状		有効長さ1.5m 
電気定格	電源電圧	100V(50/60Hz)
	消費電力	450W
タンク	容量	約6L
	材質	特殊ステンレス鋼板
出湯温度		約60℃
わかしあげ温度		約60℃
わかしあげ時間		約42分
発熱体	構造	シーズヒーター
	容量	450W
自動温度調節器		バイメタル方式(自動復帰式)
温度過昇防止器		バイメタル方式(手動復帰式)
標準出湯量 ※1		約9.5L
使用可能雰囲気温度		0~40℃(ただし凍結しないこと)

※1：水温15℃、出湯温度36℃、出湯量4L/分の標準条件で一度に使用できる湯量

※2：自動水栓と組み合わせる場合は、0.1MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)となります。

特定電気用品の適合性検査証明

本製品は、電気用品安全法第9条の規定に基づき、特定電気用品の適合性検査証明を受けています。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：		(品番：)	
保証期間		取付日		年 月 日	
取付日より 2ヶ年					
お客さま	おなまえ	無効 様		取扱店名	
	おところ				
	おでんわ () -			TEL () -	

お客さまへ

- ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定 (保証規定)

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
 - 用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 取付説明書などに基づかない取付けに起因するキズや破損・その他の不具合。
引渡し時に申し出の無かったもの。
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現像(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
 - 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品(パッキン)類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷
 - 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷(※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう)
 - 凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等)に起因する故障及び損傷などの不具合
 - 指定規格以外のガス・電気・燃料等を使用したことに起因する不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

商品についてのお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-197-456

受付時間 9:00~20:00 (365日受付)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp>

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は (本文の「アフターサービスについて」をお読みください)

LIXIL修理受付センターへ

■WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間/9:00~19:00

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

- 当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品購入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス

<https://www.lixil.co.jp/>

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理をご依頼ください。

